

世界はひとつ

164号
2026.2



- ごみの行方とリサイクルの“今”を、国際交流員が見学しました!
- 県内地域日本語教室の紹介
- 「いのち」を守ろう～多言語で災害情報を受け取ろう～



ごみの行方とリサイクルの“今”を、国際交流員が見学！

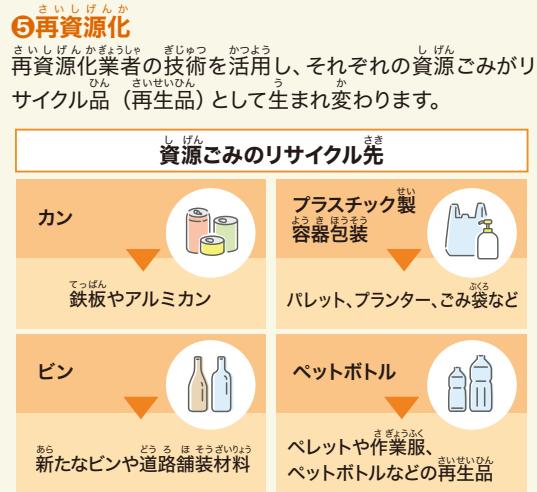
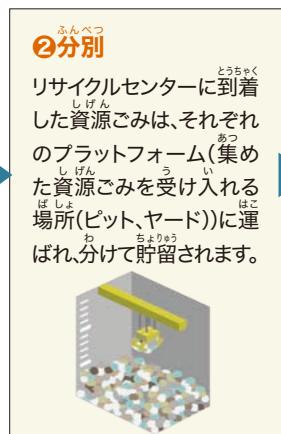
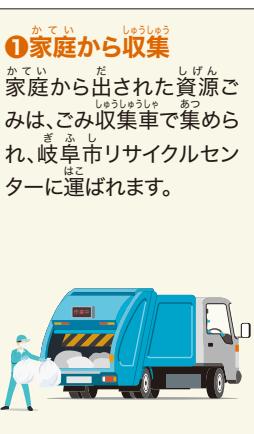


岐阜県と(公財)岐阜県国際交流センターで勤務する国際交流員が、岐阜市「ごみ減量・資源化に関するシピック・アクション号」を利用して、岐阜市リサイクルセンター(岐阜市)と日本耐酸壘工業株式会社(大垣市)の施設見学に行ってきました。

岐阜市リサイクルセンターとは？

岐阜市リサイクルセンターは、家庭から分別して出された4種類の資源ごみ(カン、プラスチック製容器包装、ビン、ペットボトル)を、手選別後、それぞれ処理(貯留、圧縮成型)し、再生工場へ運ぶための施設です。

リサイクルまでの流れ(岐阜市)



リサイクルのクイズにもチャレンジ

普段は近づけない收集車！(これはトリックアートです)

日本耐酸壘工業株式会社とは？

日本耐酸壘工業株式会社は、大垣市に本社を置くガラスビンの製造・加工・販売を行う企業です。主に茶・透明のビンを取り扱っており、中でも栄養ドリンクビンは全国の約40%を生産しています。岐阜市リサイクルセンターを通じて引き渡されたガラスビンは、グループ会社(丸硝株式会社)にてカレット(碎いたガラス)に加工され、日本耐酸壘工業株式会社にて新しいビンへと再生されています。



国際交流員の感想

火災の原因になることもあるリチウムイオン電池について話を聞き、安全のためにも適切な場所で処分する必要があると感じました。

ペットボトルのラベルやキャップを手作業で外している様子を見て、住んでいる地域のルールを確認し、日頃から分別を意識することの重要性を実感しました。

ペットボトルやプラスチック製容器包装は、汚れているものや着色されたペットボトルはリサイクルできないことを知りました。これからは洗って出そうと思いました。

耐熱ガラスは、ビンと一緒に捨ててはいけないことを初めて知りました。岐阜市では粗大ごみとなるため、ルールを守って出そうと思います。

一人ひとりのちょっとした資源ごみへの意識が、リサイクルにつながると感じました。



「日本のごみ出しルールで戸惑ったこと」

今回は、国際交流員のみなさんに「日本のごみ出しルールで戸惑ったこと」をテーマに、それぞれの国のごみ出しルールも交えて聞いてみました。



グスタボ交流員(ブラジル)

初めて留学で日本に来たとき、生活ガイドブックには災害時の避難方法から交通ルール、細かなごみ分別まで詳しく書かれていて驚きました。ブラジルでは燃える・燃えない程度の大まかな分別しかなく、日本生活3年目を迎えた今でも電球の捨て方に迷うことがあります。

それでも、徹底した分別が文化として根づいている日本の姿勢は、未来にとって大きな意味があると感じます。地球環境を守り、リサイクルセンターで働く人々の努力に応えるためにも、分別を日々心がけることの大切さを改めて感じています。



ヒエン交流員(ベトナム)

ベトナムではごみの分別ルールが浸透しておらず、意識も人それぞれで、分けても回収により処理に限界があり、心が痛むこともあります。一方で日本はルールが厳しく大変ですが、その細かさに安心感を覚えます。難しいのは、ごみの種類ごとに出来る日や場所が違うこと、そして夜行性の私には早起きが試練なことです。それでも出せた日は小さな勝利。

ベトナムでは1日に数回ごみ収集があり、それが恋しくなることもあります。分別ごみだらけの自分の家を目にしながらも、リサイクルへの希望を持ち続け、頑張りたいと思います！



紀悠交流員(中国)

私の地元・広東省では、まだごみの分別に本格的に取り組んでおらず、日本に来たばかりの頃は本当に戸惑いました。最初の資源ごみの日も早速逃してしまい、家の中はネット通販の段ボールや壊れた蛍光灯、使い終わった乾電池に占領されて大パニック。次の資源ごみの日まで待つのがせっかちな私には耐えられず、かなりイライラ…。

調べてみると、公民館であればいつでも捨てられると知り、重たいごみを抱えて約1キロ歩くことに。そのおかげで、今ではすっかり慣れ、ごみと平和に共存しながら落ち着いて溜められるようになりました。



ラファエル交流員(イギリス)

日本で戸惑ったことの一つは、地域によってリサイクルのルールが大きく違うことです。私の出身地ブリストルでは段ボールは毎週回収されていましたが、今住んでいる岐阜市では月に一度だけです。来日直後は家具や生活用品をそろえるため段ボールが次々に出ましたが、回収日を逃し、キッチンに小さな段ボールの山ができてきました。後になって、回収日以外でも持ち込む場所があると知りましたが、車がないと簡単ではありません。外国人の方には、回収日をカレンダーに登録しておくことをおすすめします！

国際交流員とは…

国際交流員(CIR:Coordinator for International Relations)は、地方公共団体依頼の通訳・翻訳業務をはじめ、学校等への派遣、語学講座や国際理解を深める講座、交流イベントなどを企画・実施しています。

実践！ ごみ出しの ポイント

Point



①ごみ出しルールを確認

市町村のウェブサイトやお知らせで、ごみ出しのルールを確認しましょう。市町村によってルールが異なるので、事前にチェックすることが大切です。ごみ袋の種類や、出す場所・時間も市町村によって異なります。住んでいる市町村のルールをしっかりと守りましょう。



②分別をしっかり

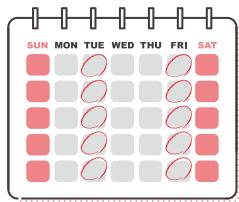
ごみの種類ごとに出す場所や時間が決まっています。正しく分別することで、リサイクルがスムーズに進みます。

③回収日を忘れずに

回収日をカレンダーにメモして、ごみを出し忘れないように注意しましょう。

市町村のルールを確認し、ルールを守って適切にごみを出しましょう。

みなさんのごみ出しの意識が、リサイクルを進め、未来の環境や資源を守ることに繋がります。



日本語で広がる、人と地域のつながり

県では、生活者としての外国人県民に日本語学習機会を提供するため、市町村や企業等が行う地域日本語教室の開設運営を支援しています。今回は、県のモデル教室として始まり、現在は市主催で活動している2つの教室を紹介します。

なかつがわ日本語ひろば(中津川市)

互いの文化や価値観を共有する場～対話から始まる“多文化共生”的まちづくり～

外国人と日本人のつながりをつくり、対話を通じて日本語や日本文化を学ぶ教室です。毎回一つのテーマをもとに、外国人参加者と日本語パートナーが、やさしい日本語で会話し交流しています。ゲスト講師による交通ルールや図書館の使い方などの体験型活動を通じて、日本社会で必要な語彙の習得にもつなげています。国籍を問わず、市民が互いの文化を尊重し、誰もが住みやすい中津川市を目指しています。

かいさいひ 開催日
ぜんき こうき ねん きせい しゅうまつ しゅう かいていど
前期・後期の年2期制、週末に週1回程度
ばしょ 場所
ひと・まちテラス(中津川市新町)
しゃさい 主催
なかつがわしちいき きょうどうか ないせん
中津川市地域づくり協働課 TEL:0573-66-1111(内線4504)



わのうちにほんごひろば(輪之内町)

輪之内町に根ざす“にほんご”の居場所～地域と外国人をつなぐひろば～

外国人が生活に必要な日本語や生活ルールを身につけ、日本人と交流しながら互いに理解し受け入れる「多文化共生」の考え方を育む教室です。前半は各自が学びたい内容に取り組み、後半は自分自身や輪之内町についてサポートーと日本語で話し合う交流の時間を設けています。また、防災・避難所設置訓練や地域行事への参加などを通して、外国人が町を理解し、安心して暮らせる拠点となることをを目指しています。

かいさいひ 開催日
まいつきだい 每月第2・第4日曜日の午後1時～3時
ばしょ 場所
わのうちょうぶんかいかん ちょうりつとしょかん
輪之内町文化会館/町立図書館(輪之内町中郷新田)
しゃさい 主催
わのうちょうようきい いんかい
輪之内町教育委員会 TEL:0584-69-4500



ぎふ日本語学習支援サイト



<https://www.gic.or.jp/nihongo/>

ほん けんない ちいきにほんごきょうしつ じょうほう たけんご けんさく 本サイトは、県内の地域日本語教室の情報を多言語で検索できるウェブサイトです。日本語学習を希望する外国人県民の方が教室を探す際や、支援者の方が日本語教育に関する情報を確認する際にご活用いただけます。

このたび、新たに「事例紹介」ページを開設しました。中津川市や輪之内町を含む地域日本語教室の取り組みを紹介していますので、ぜひご覧ください。

がいこくじん みんな そだんまどぐち
外国人の皆さんための相談窓口

当センターでは、さまざまな相談を受け付けています。税金、住まい、教育、福祉など、日常生活で困ったことはありませんか？ 15言語以上で相談できますので、どうぞ気軽にご利用ください。

たい対象
げんざいふくし
電話相談
けんざいじょう
15言語以上
たいめんそだん
対面相談
えいご
英語、中国語、ポルトガル語、フィリピン語、ベトナム語



TEL: 058-263-8066
受けつけじかん
受付時間：9:30～16:30(月～金曜日)

さんじょかいいんぼしゅうちゅう
【賛助会員募集中】
くわ どう とあ
詳しく述べてください。

当センターの活動を支援してくださる個人・団体を募集します。

ねんかいひ ねんかいひ
個人 1口 3,000円
団体 1口 5,000円

とくでん
特典
じゅほうし
情報誌「世界はひとつ」の送付、
主催イベントの参加費割引など

「いのち」を守ろう

～多言語で災害情報を受け取ろう～

岐阜県国際交流センターの“Facebook”をフォローしよう！

当センターでは、6言語で災害に関する情報発信をしています。
自分や大切な人の命を守るため、右のQRコードから、ぜひ登録をお願いします。

〈発信の内容〉

緊急安全確保	命が危ないです
避難指示	すぐに逃げてください
氾濫危険水位	川から水があふれるかも
避難判断水位	川の水が増えてきています
土砂災害警戒情報	土砂災害が起きるかも

FacebookのQRコードはこちら!!



情報発信の表示例（スマートフォンの場合）

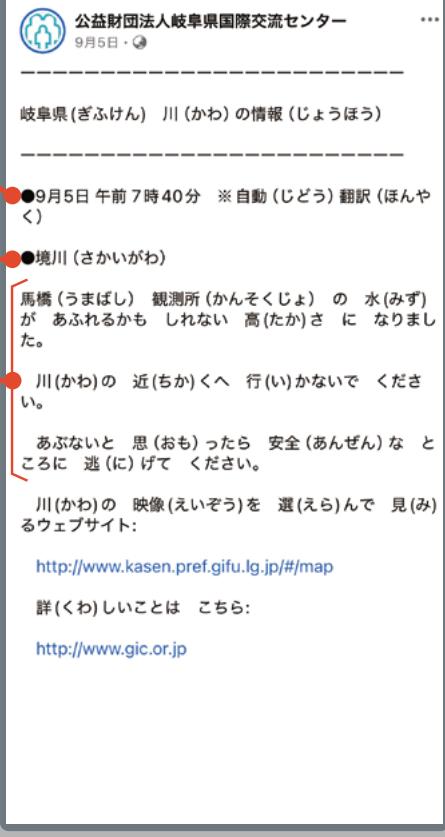
この画面が出たら、
[もっと見る] をクリック



発信された
日時

具体的な
川の名前

水位に関する
情報



FOCUS!

岐阜と世界をつなぐ活動団体

岐阜日伯協会

岐阜から広がる日伯交流

事務局長：熊田 典枝

岐阜日伯協会は、岐阜市とブラジル・カンピーナス市との間で姉妹都市提携が結ばれたことを契機に、1983年、日系ブラジル人留学生・研修生を受け入れる市民団体として設立されました。

毎年ブラジルから県費留学生として日系ブラジル人の大学生が来岐します。その留学生を囲んで「ベンビンドぎふ」と名付けたイベントを開催。ポルトガル語で「ベンビンド」とは「ようこそ」という意味。日本各地に留学・研修に来ているブラジル人に呼びかけ、ここ岐阜に集結、「シュラスコ」というブラジル式焼肉料理を岐阜市民とともに楽しむイベントです！

2025年も11月に岐阜市内の円徳寺を会場に100名を超える方に参加していただきました。

当協会の特長は「家族会員」制度あります。家族の何れかが協会の会員であれば、その家族全員が協会の会員とみなされます。ですからほとんどの会員が家族でイベントに参加。

設立から40年以上が経っても家族会員制度のお蔭で次の世代へと受け継がれていく土台があります。ブラジルに興味のある方、ぜひ岐阜日伯協会の扉を叩いてください。お待ちしています！



ベンビンドぎふでの記念撮影 (2025年11月)

問合せ

岐阜日伯協会 TEL: 058-263-4315 E-mail:kumada@earth-p.com



岐阜デスクからのお知らせ

JICA海外協力隊のご紹介

JICA岐阜デスクの土屋です。JICAでは日本政府のODA(政府開発援助)により開発途上国へボランティアを派遣しており、1965年の発足以来60周年を迎えました。応募できるのは20~69歳の日本国籍を持つ方です。派遣期間は原則2年間ですが、1ヶ月から参加できる短期派遣制度もあります。190以上の職種があり、教師、農林業、スポーツ、料理、服飾、保健・医療、福祉、観光、映像、土木、自動車整備など様々です。退職後にセカンドキャリアとして参加される方や、企業・団体に所属しながら休職などで身分を残して参加される方もいらっしゃいます。気軽に参加いただける説明会を春と秋に開催しており、制度内容や帰国隊員のリアルな体験談を聞くことができます。



JICA岐阜デスク 土屋増信 TEL:058-263-8069 E-mail:jicadpd-desk-gifuken@jica.go.jp



ガーナの職業訓練校にてICT(情報通信技術)の講義をする隊員

広告

ひ ふ か

いちき皮膚科

・ 診療時間
月・火・木・金・土： 9:00～12:00
月・火・木・金 : 15:30～18:30
・ 休診日
土曜午後、水曜、日曜、祝日
〒502-0913
岐阜市東島3-9-13
☎ 058-231-1237

発行・編集

公益財団法人 岐阜県国際交流センター(GIC)

〒500-8875 岐阜市柳ヶ瀬通1-12 岐阜中日ビル2階

TEL 058-214-7700 FAX 058-263-8067

E-mail gic@gic.or.jp URL https://www.gic.or.jp

かいんじかん 開館時間 9:30～18:00(日～金曜日) 休館 土曜日、祝日、年末年始

たいおんかのうげんご 対応可能言語 英語、中国語、ポルトガル語、フィリピン語、ベトナム語 ほか

岐阜県国際交流センターの情報は、
SNS・ウェブサイトをご覧ください！



Instagram



Facebook



ウェブサイト

